

(株) オンダテクノ

岐阜市・専門サービス

従業員数 / 男性148名 女性172名 計320名 ※令和7年10月現在

エクセレント
POINT

- ①QCサークル活動やRPA導入による徹底した業務効率化
- ②時差出勤、在宅勤務など柔軟な働き方の導入
- ③社員の健康増進のための各種支援



業務効率化やサービス向上を目的としたQCサークル活動。在宅勤務の社員もWEB会議システムを活用し、積極的に活動している。

QCサークル活動で業務改善

40年にわたりQC(クオリティ・コントロール)サークル活動と銘打った業務改善活動を行っており、現在は全社員が40グループに分かれて活動。選んだテーマを週1時間のミーティングで半年かけて追究し、業務効率化や所定外労働の削減に大きな成果を上げている。経営に

直結するような内容の提案もあり、恩田誠社長は「企業として足りない部分を補ってもらっている。社員間にも自分たちで職場を良くしようという考えが根付いている。会社として最重要とする活動」と話す。

多様な働き方や社員の健康づくりも積極的に推進している。上司と相談の上、7~11時の範囲内で始業時間を調整できる時差出勤制度や在宅勤務制度があり、一定条件下、多くの社員が制度を活用している。業務支援本部内外管理部の林幸美さんは、時短勤務と時差出勤制度を併用し、勤務時間は15時45分までとしている。さらに週3日在宅勤務をし、仕事と育児の両立を図る。「時短・時差在宅勤務制度のおかげで、仕事も家事育児も思いっきり取り組めている」と話す。

また、「ワークライフバランスと関連の深い「健康経営」に取り組み、



英語力を活かし、世界各国の特許庁への事務手続きを担当する林さん。「職場の皆様のご理解とご協力のおかげで、安心して働くことができている」と話す。

会社負担によるがん検診等の任意健診や社員で歩数を競い合うウォークラリーなど、様々な施策を実施。社員の心身の健康増進に注力している。

恩田誠社長は「優秀な人材の確保、定着はサービス品質に直結する。それぞれの能力や個性を存分に発揮できる職場環境の構築に今後も取り組んでいきたい」と話している。